

週間漁海況情報—第2号

平成28年1月19日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

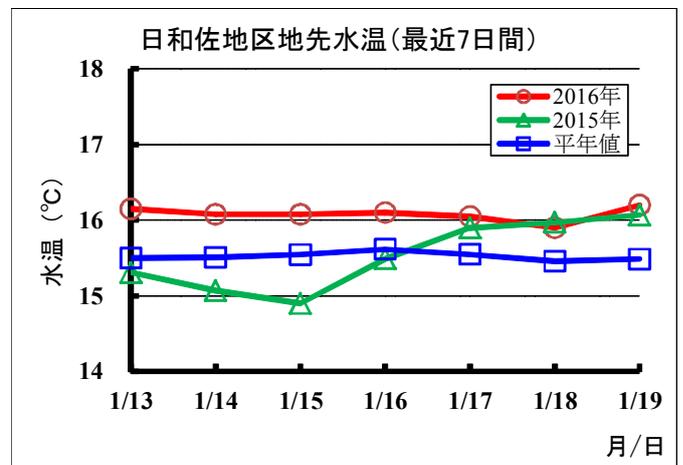
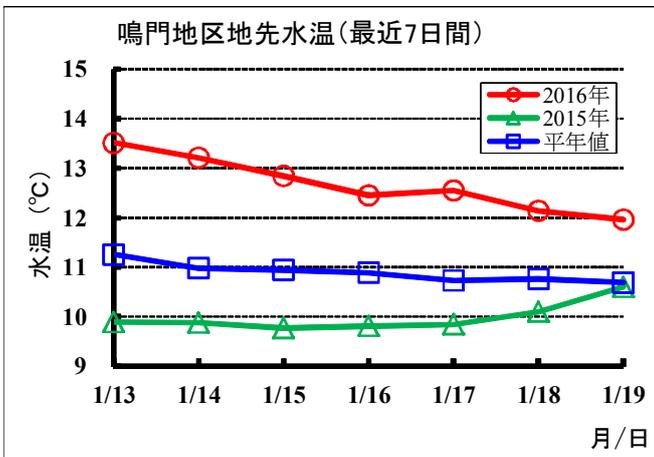
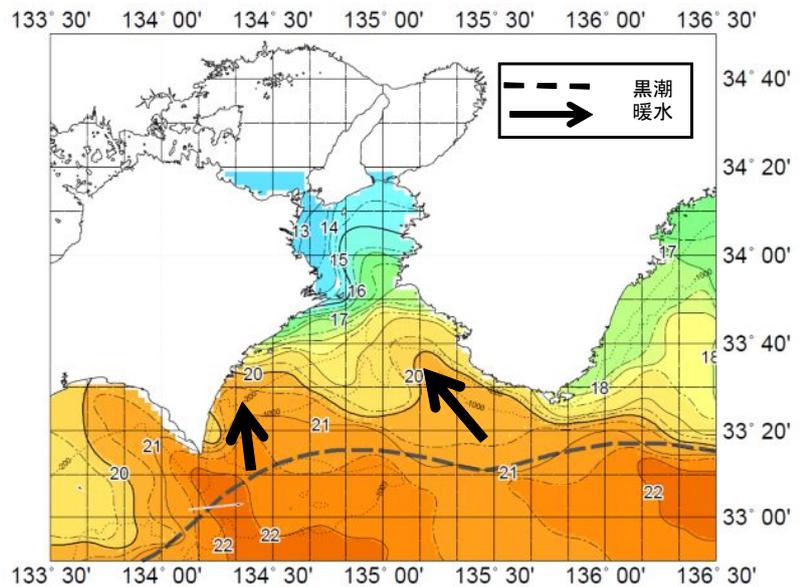
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H28.1.19）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は21～22℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11～12℃台、紀伊水道で12～17℃台、海部沿岸では14～20℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸と室戸岬沖からの暖水流入が見られる。



地先水温: 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の12.0～13.5℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.9～16.2℃、牟岐地区は「やや高め」～「かなり高め」の16.5～17.9℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.2トン（1日1隻あたり8kg）、中主体にアカアマダイが0.4トン（同21kg）、大主体にシロサバフグが0.9トン（同38kg）、クロサバフグが0.8トン（同55kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でウスバハギが0.2トン（同20kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でカタクチイワシが1.4トン（同37kg）、小主体にマアジが0.4トン（同18kg）、マルソウダが0.2トン（同11kg）、アオリイカが0.4トン（同7kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でマルソウダが2.9トン（同365kg）水揚げされた。

釣り：紀伊水道で中主体にサワラが0.2トン（同23kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2016年1月11日～2016年1月17日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	27	229	8	大主体
		アカアマダイ	19	406	21	中主体
		シロサバフグ	23	867	38	大主体
		クロサバフグ	15	820	55	
建網		ウスバハギ	12	241	20	
小型定置網		カタクチイワシ	38	1,418	37	
		マアジ	21	375	18	小主体
		マルソウダ	19	200	11	
		アオリイカ	63	447	7	
大型定置網		マルソウダ	8	2,919	365	
釣り	紀伊水道	サワラ	10	230	23	中主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の1月12日～1月18日には、海部沿岸で、延縄で大主体にキダイが0.3トン、大主体にサバフグが0.4トン、建網でメジナが0.5トン、小型定置網でアオリイカが0.5トン、カタクチイワシが1.3トン、小主体にマサバが2.1トン、かます類が0.5トン、メジナが0.7トン、大型定置網で中・小主体にカワハギが0.3トン、中主体にハマチが0.6トン、中主体にスルメイカが0.9トン、マメ主体にマアジが0.4トン、小主体にマルアジが0.4トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の11～10℃台、日和佐地先で「やや高め」～「平年並み」の16～15℃台で推移する見込み。